

企業会員と連携した環境教育事業

「企業・学校・NPOによる環境学習支援プロジェクト 2012」

- ・私立武庫川女子大学附属高等学校 2年 「明るい未来のために」 (5/19 120名、9/29 70名)
学習したことを最終的にグループで発表する授業。「持続可能な社会」という概念やその実現に向けて企業や事業所で取り組まれていることを紹介しました。
*生活協同組合コープこうべ、(株)リリーフ、LEAF
- ・びん分科会企業メンバーにより、びんの循環のしくみと環境について学ぶ
「西宮お酒とびんのものがたり」を実施 *新日本流通(株)、辰馬本家酒造(株)、日本山村硝子(株)
・西宮市立甲陽園小学校4年生 (5/29) (株)山一商会、(株)山村製壺所、(株)吉田製作所
- ・コープこうべ 北口食彩館において「お店たんけん」
・西宮市立高木小学校3年生 (11/2、11/6)



「西宮お酒とびんのものがたり」



甲山農地保全活用プロジェクト報告会



「ハウス食と農と環境の体験教室」豊穰祭



(株)リリーフの社員が参画する「こども農業塾」

企業・事業者と連携した環境学習及び環境保全活動に関する取り組み

●環境学習都市にしのみや・パートナーシップ認定事業

企業・市民・大学などとの連携の下実施している「農地保全活用プロジェクト」では、「甲山農業塾」を実施する他、企業イベントを実施しました。

- スポンサー事業「甲山農業塾」 甲山鷲林寺農地で実施
協力企業：ハウス食品(株) リヴァックスグループ ・家族・グループコース(全24回) 10組
後援：JA兵庫六甲 ・基礎体験コース(全26回) 14名

- ハウス食品(株)
 - ・「ハウス食と農と環境の体験教室・西宮」(5/19、7/16、9/1、10/7、11/3、11/24) 12組 42名
 - ・小学校3年生や西宮市適応指導教室を対象とした環境体験活動として田植え、稲刈りカレー作りなどの「食農体験支援活動」をはじめ、中学生、高校生、大学生を受け入れました。
 - ・全11回の「先生のための農体験教室」や保育士研修など指導者対象に「農・食・環境」を学ぶ研修を行いました。(P.3甲山鷲林寺農地での受け入れ参照)

- リヴァックスグループ
 - ・株式会社リリーフ「こども農業塾」(6/2、7/28-29、9/22、11/17)
甲山神呪寺農地での米作り、甲山周辺の自然観察、農の文化を学ぶ全4回のプログラム 31名
 - ・農業・里山体験イベント(5/26) 10組27名
 - ・株式会社大協 稲刈り・サツマイモ堀り体験(10/13 9組34名)
環境教育・食育事業(伊丹市内小学校14校、イモ苗1400株)
甲山の落ち葉たい肥で作ったサツマイモの苗を配布していただきました。

- 生活協同組合コープこうべ
第2地区本部「地域活動サポート事業」
 - ・ひょうごくらしの親子塾(7/25 お米の一生、8/29 収穫体験、12/9 しめ縄づくり、2/10 味噌づくり)生活文化・福祉部
 - ・ひょうごくらしの親子塾(8/2、8/8 お米の一生)

- 伊藤ハム(株)「食とeco」わくわく探検隊(5/26 9/29)各60名

- フコク生命阪神営業所「フコク赤ちゃんクラブ 子育て連続セミナー」(第1回 12/10、第2回 2013/2/6)

第一次産業を基盤とした次世代の総合的な生活力を育む学びの社会デザイン研究会

大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所(CEL)との共同研究として、コープこうべ、JA兵庫六甲、兵庫県漁業協同組合、兵庫県森林組合連合会、兵庫県、近畿農政局兵庫農政事務所との意見交換や現地見学などを通じて、1年間の研究事業を実施しました。 10回

第7回研究会は「人口問題」について講義を受け、意見交換を行いました。→



「たべものから山の恵みを探ろう」社家郷山でまどめの話

コープの森・社家郷山事業受託

兵庫県が2008年度から始めた「企業の森づくり制度」の第1号として生活協同組合コープこうべが兵庫県西宮市にある社家郷山の整備と現地での環境学習・活動を進めています。LEAFはこの事業において、森林保全、学習事業に協力しています。

- 市民参加による森林整備
 - ・組合員対象 ボランティア育成セミナー 全2回(6/23、7/28) 里山基礎講座、森林整備講座 延べ27名
 - ・コープこうべ YMCA あそびっ子ウィーク(8/10) 参加者：27名
 - ・阪神友愛食品 環境体験活動(10/29) 参加者：23名
 - ・コープこうべ環境推進室「食べて・学んで・楽しく里山プチ体験」(10/21、2013/3/24) 延べ112名
 - ・コープの森社家郷山&甲山農地「たべものから山の恵みを探ろう」全5回(5/20、7/14、8/26、9/22、12/15)
- コープ職員を対象とした森林体験活動(ボランティア育成セミナー、ボランティア活動など)

世界の子どものための環境活動交流及び国際協力事業

国際協力事業

JICAからの事業受託等

■「地方自治体における廃棄物処理(D)アジアコース」を受託

日程：6/25-7/20

研修生：11名

アジア各国の廃棄物関係の自治体職員の廃棄物管理や3R推進など環境啓発に向けた行政能力向上を目的に実施し、東京、西宮市での廃棄物の取り組みや市内廃棄物関連事業所などで学びました。



アジアコース：
ごみ収集車製造メーカー新明和工業(株)を見学

■「地方自治体における廃棄物処理(C)大洋州地域コース」を受託

日程：11/6-11/30

研修生：9名(フィジー、キリバス、ミクロネシア、パプアニューギニア、サモア、ソロモン)

大洋州地域の共通課題である廃棄物問題を長期的な視点から解決に導くため、各国の廃棄物関係の政府及び自治体職員の行政能力向上を目的に実施しました。



大洋州地域コース：
コープこうべエコファームにある
「土づくりセンター」を見学

■「チリ国・環境教育推進のための行政能力強化研修」 帰国研修員支援フォローアップ調査・調査団員派遣

日程：2013/3/9-24

2011年度に行ったチリ国の環境省、地方自治体、NGOなど環境教育を推進する関係者対象の研修において、その後の帰国研修員のアクションプラン実施状況を確認するため、派遣を受けました。バルディア市で防災教育を含めた「まちの語り部」養成事業計画案の策定を目的に提言・指導を行いました。



「津波」安全地帯を示す看板(オネミ)



バルディビアでの地域調査

■JICA「沿岸域・内湾およびその集水域における統合的水環境管理研修」における環境教育講義

日程：10/31

研修生：12名(中国、キューバ、エジプト、グルジア、イラン、マーシャル、トルコ)

その他

■神戸女学院大学インターンシップ研修受入

日程：第2期(2011/10月~2012/9月)第3期(2012/10月~2013/9月)

研修生：第2期 6名(インドネシア、フィリピン、ベトナム、中国、マレーシア、韓国)
第3期 5名(インドネシア、フィリピン、ベトナム、中国)

西宮市の環境学習事業の様々な場面を見学、またEWC事業の実践的な作業にあたるなど、LEAFの実施しているESD関連事業において受け入れました。(年間約100回)



お互いの国の状況や考え方を知り、持続可能性について考察しました。

京都大学ESD研究会

- ・米国バーリントン市関係者訪日 日程：2013/2/28-3/5

2003年に米国バーリントン市と共同声明を行った環境学習都市宣言は西宮市でのESDの取り組みの契機ともなりました。共同声明後の両市での取り組みから「持続可能なまちづくり」「子どもの安心・安全環境」を学ぶことを目的に研究事業が実施されました。



西宮市長、環境局長との面談

世界の子どものための環境活動交流

■ホームページ「地球キッズ環境ネットワーク」 <http://www.chikyu-kids.net>

海外8カ国の運営メンバーと共にネットワークのホームページ運営を継続しています。
また、毎年西宮市で開催しているEWC環境パネル展には、同ネットワークからの出展など、7カ国から148点の作品が届きました。ホームページに展示の様子を掲載しました。

出展国：ペラルーシ共和国、中華人民共和国、インド、ネパール連邦民主共和国、ラトビア共和国、パキスタン・イスラム共和国、セルビア共和国

